

平成25年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年4月30日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 夢テクノロジー

コード番号 2458 URL <http://www.yume-tec.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 佐藤 真吾

問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長

(氏名) 金子 壮太郎

TEL 03-5940-2215

四半期報告書提出予定日 平成25年5月15日

配当支払開始予定日

平成25年5月24日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年9月期第2四半期の業績(平成24年10月1日～平成25年3月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年9月期第2四半期	1,756	△9.1	140	△12.5	207	19.2	167	△0.2
24年9月期第2四半期	1,933	△10.5	160	105.7	173	123.3	167	214.9

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年9月期第2四半期	2,926.92	—
24年9月期第2四半期	2,932.56	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%		
25年9月期第2四半期	2,852		1,795	62.8		
24年9月期	2,433		1,475	60.5		

(参考) 自己資本 25年9月期第2四半期 1,791百万円 24年9月期 1,472百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年9月期	—	2,000.00	—	—	—
25年9月期(予想)	—	—	—	2,000.00	4,000.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年9月期の業績予想(平成24年10月1日～平成25年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,500	△6.6	240	△4.0	310	14.4	270	5.7	4,726.89
	~3,600	~△3.9	~270	~8.0	~340	~25.5	~300	~17.4	~5,252.10

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の有無になります。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は[添付書類]P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年9月期2Q	57,120 株	24年9月期	57,120 株
----------	----------	--------	----------

② 期末自己株式数

25年9月期2Q	— 株	24年9月期	— 株
----------	-----	--------	-----

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年9月期2Q	57,120 株	24年9月期2Q	57,100 株
----------	----------	----------	----------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予測数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、様々な要因によって大きく異なる可能性があります。上記予測数値に関する事項につきましては、[添付書類]P. 3「(3)業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第2四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(6) セグメント情報等	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間における我が国経済は、アジア経済の減速や長引く円高により輸出関連企業を中心に国内景気への影響が懸念されておりましたが、昨年後半にかけ中国経済を中心にアジア経済が持ち直すとともに、昨年12月の政権交代以降、積極的な金融・財政政策により足元では円相場の水準訂正、株価回復の局面が続いており、景気回復への期待感が高まりつつあります。

当社の顧客企業が属する自動車・電気機器・半導体等の製造業界におきましては、欧州の市況低迷や円高の影響が続いているものの、円相場の水準訂正により輸出関連企業を中心に一定の回復の兆しがありました。また、情報系エンジニアの派遣先となるIT業界においては、前期より引き続き、各企業のシステム投資が持ち直しの動きをみせております。

このような事業環境の下、当社では、需要の高まってきている業界に対応できる技術者の採用および育成に注力し、付加価値の高い人材サービスを提供することで顧客企業のニーズに対応してまいりました。また、営業力の強化による技術者の待機期間短縮に注力し、前期から引き続き実施しているコスト管理を徹底する事により業務の効率化を実施してまいりました。また、余剰資金の一部を復興需要により成長が見込まれる株式への投資をする事により効率的な資金運用を進めてまいりました。

以上の結果、当第2四半期累計期間の経営成績は、売上高はほぼ計画通りの1,756百万円（前年同期比9.1%減）、営業利益140百万円（前年同期比12.5%減）、経常利益207百万円（前年同期比19.2%増）、四半期純利益167百万円（前年同期比0.2%減）となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の分析

当第2四半期会計期間末における総資産の残高は2,852百万円（前事業年度末は2,433百万円）となり419百万円増加いたしました。

(流動資産)

当第2四半期会計期間末における流動資産の残高は2,203百万円（前事業年度末は1,920百万円）となり283百万円増加いたしました。

主な要因は、現金及び預金の増加によるものであります。

(固定資産)

当第2四半期会計期間末における固定資産の残高は649百万円（前事業年度末は513百万円）となり136百万円増加いたしました。

主な要因は、投資有価証券の増加によるものであります。

当第2四半期会計期間末における負債の残高は1,057百万円（前事業年度末は957百万円）となり100百万円増加いたしました。

(流動負債)

当第2四半期会計期間末における流動負債の残高は620百万円（前事業年度末は569百万円）となり51百万円増加いたしました。

主な要因は、短期借入金の増加によるものであります。

(固定負債)

当第2四半期会計期間末における固定負債の残高は436百万円（前事業年度末は388百万円）となり48百万円増加いたしました。

主な要因は、固定負債その他の増加によるものであります。

(純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産の残高は1,795百万円(前事業年度末は1,475百万円)となり319百万円増加いたしました。

主な要因は、四半期純利益の計上に伴う利益剰余金の増加によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前事業年度末より369百万円増加し1,648百万円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は141百万円(前年同四半期に得られた資金は131百万円)となりました。これは主に税引前四半期純利益の計上によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果得られた資金は198百万円(前年同四半期に得られた資金は154百万円)となりました。これは主に投資有価証券の売却による収入740百万円、投資有価証券の取得による支出545百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は30百万円(前年同四半期に得られた資金は284百万円)となりました。これは主に短期借入金による収入によるものであります。

(3)業績予想に関する定性的情報

平成25年9月期通期の業績につきましては、平成25年4月30日付「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1)四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

固定資産の減価償却の算定方法

定率法を採用しているものについては、事業年度に係る減価償却費の額を期間按分する方法としております。

(2)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期会計期間より、平成24年10月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年9月30日)	当第2四半期会計期間 (平成25年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,153,513	1,598,772
受取手形及び売掛金	468,496	454,552
預け金	125,302	50,000
その他	173,026	100,304
貸倒引当金	△141	△49
流動資産合計	1,920,198	2,203,580
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	3,998	2,845
工具、器具及び備品（純額）	6,765	5,255
有形固定資産合計	10,764	8,101
無形固定資産		
投資その他の資産	27,195	20,983
投資有価証券	443,853	589,480
敷金及び保証金	30,720	29,714
その他	614	911
投資その他の資産合計	475,188	620,106
固定資産合計	513,148	649,191
資産合計	2,433,347	2,852,771
負債の部		
流動負債		
短期借入金	—	50,000
1年内返済予定の長期借入金	40,000	40,000
未払金	57,924	39,704
未払費用	236,568	235,782
未払法人税等	17,484	43,108
未払消費税等	26,328	23,620
賞与引当金	114,993	115,705
その他	75,952	72,944
流動負債合計	569,251	620,864
固定負債		
長期借入金	130,000	110,000
退職給付引当金	254,959	262,589
その他	3,267	64,191
固定負債合計	388,226	436,780
負債合計	957,478	1,057,645

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年9月30日)	当第2四半期会計期間 (平成25年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	869,650	869,650
資本剰余金	346,606	346,606
利益剰余金	297,027	464,213
株主資本合計	1,513,284	1,680,470
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△40,557	111,513
評価・換算差額等合計	△40,557	111,513
新株予約権	3,142	3,142
純資産合計	1,475,869	1,795,125
負債純資産合計	2,433,347	2,852,771

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年3月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年3月31日)
売上高	1,933,353	1,756,806
売上原価	1,429,095	1,338,020
売上総利益	504,257	418,785
販売費及び一般管理費	343,899	278,411
営業利益	160,358	140,374
営業外収益		
受取利息	1,639	113
受取配当金	—	5,679
投資有価証券売却益	12,359	56,523
貸倒引当金戻入額	3,975	92
助成金収入	2,133	2,697
その他	1,008	4,763
営業外収益合計	21,115	69,868
営業外費用		
支払利息	1,535	1,450
支払手数料	3,863	—
その他	2,272	1,699
営業外費用合計	7,671	3,149
経常利益	173,802	207,093
特別損失		
固定資産除却損	90	—
特別損失合計	90	—
税引前四半期純利益	173,712	207,093
法人税、住民税及び事業税	6,263	39,907
法人税等調整額	—	—
法人税等合計	6,263	39,907
四半期純利益	167,448	167,185

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年3月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	173,712	207,093
減価償却費	3,117	1,822
ソフトウェア償却費	6,185	6,211
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△3,975	△92
賞与引当金の増減額(△は減少)	△43,597	711
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△21,078	7,629
受取利息及び受取配当金	△1,639	△5,792
支払利息	1,535	1,450
固定資産除却損	90	—
投資有価証券売却損益(△は益)	△12,359	△56,523
売上債権の増減額(△は増加)	△2,067	13,943
未収入金の増減額(△は増加)	38	1,186
前受収益の増減額(△は減少)	15	—
たな卸資産の増減額(△は増加)	△941	—
仕入債務の増減額(△は減少)	365	—
未払金の増減額(△は減少)	13,909	△9,720
未払費用の増減額(△は減少)	△4,722	△786
未払消費税等の増減額(△は減少)	1,230	△2,708
その他	25,081	△14,565
小計	134,898	149,862
利息及び配当金の受取額	2,561	5,383
利息の支払額	△2,140	△1,390
法人税等の支払額	△3,754	△12,148
営業活動によるキャッシュ・フロー	131,564	141,707
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△480	△220
有形固定資産の売却による収入	12	—
無形固定資産の取得による支出	△1,000	—
投資有価証券の取得による支出	△470,554	△545,275
投資有価証券の売却による収入	126,111	740,858
貸付金の回収による収入	500,000	—
その他	△10	2,884
投資活動によるキャッシュ・フロー	154,078	198,248
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	165,000	50,000
短期借入金の返済による支出	△71,000	—
長期借入れによる収入	200,000	—
長期借入金の返済による支出	△10,000	△20,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	284,000	30,000
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	569,642	369,955
現金及び現金同等物の期首残高	859,754	1,278,816
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,429,397	1,648,772

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

I 前第2四半期累計期間（自 平成23年10月1日 至 平成24年3月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	エンジニアアウトソーシング事業	N&Sソリューション事業	ビジネスソリューション事業	
売上高				
外部顧客への売上高	1,668,916	246,770	17,666	1,933,353
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	1,668,916	246,770	17,666	1,933,353
セグメント利益又は損失(△)	142,790	19,730	△2,162	160,358

(注) セグメント利益又は損失(△)は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項ありません。

II 当第2四半期累計期間（自 平成24年10月1日 至 平成25年3月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	エンジニアアウトソーシング事業	N&Sソリューション事業	ビジネスソリューション事業	
売上高				
外部顧客への売上高	1,481,220	275,585	—	1,756,806
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	1,481,220	275,585	—	1,756,806
セグメント利益	107,975	32,399	—	140,374

(注) セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項ありません。